

令和6年度事業系一般廃棄物管理責任者研修会について

本研修会は、延床面積 3000 平方メートル以上または一般廃棄物を月 3 トン以上排出する多量排出事業所の一般廃棄物管理責任者を対象に実施しています。令和 6 年度は、オンライン配信とし、以下のとおり実施しました。

配信期間 令和 6 年（2024 年）10 月 1 日（火）～令和 6 年（2024 年）11 月 15 日（金）

配信媒体 Youtube

テーマ 事業系ごみの適正処理と減量について

概要 コロナ収束後の事業活動の再開によるごみ量の増加を今後も抑えていく必要があることから、今年度の研修会は、廃棄物の適正処理、減量を進める意味や目的について、事業者の皆様に変更していただく内容としました。

〔配信内容〕

第 1 部 廃棄物の適正処理について

第 1 章 一般廃棄物と産業廃棄物

第 2 章 分別が悪い要因

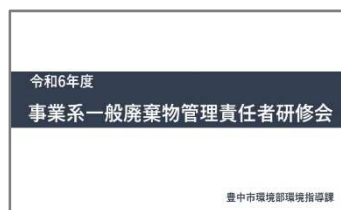
第 3 章 分別のポイント

第 2 部 廃棄物の減量について

第 1 章 豊中市の現状と課題

第 2 章 減量の必要性

第 3 章 減量の進め方



視聴回数 724 回

参加者数 106 件

(アンケート回答数)

参加者の声（研修会後のアンケートより抜粋）

- ・ 事業活動に伴って排出される廃プラスチックが全て産業廃棄物であることに驚きました。
- ・ 家庭ごみと事業活動のごみのルールを異なる点の理解が私を含めて出来ていなかった。
- ・ 研修を受講することにより、弊社の課題が見つかりました。
- ・ 適正管理できているが、全社員への教育は定期的にすべきと感じました。
- ・ 従業員数が多いため全てのスタッフに対し分別を徹底させることが難しい。
- ・ 一般廃棄物と産業廃棄物の理解が必要だと感じた。
- ・ まだまだ企業努力が必要であると思いました。
- ・ 商業施設（店舗内）に設置しているごみ箱に家庭ごみの持ち込み投棄に困っている。
- ・ リサイクルへの取り組みを増やすことで更にごみの量を削減可能だと思うので、リサイクル化を進めていきたい。
- ・ 事業系のごみや家庭ごみが減量していることは、良い方向に進捗していると思いました。
- ・ ごみの分別方法などの周知をすすめるとともに、ごみが出ないような工夫を引続き行っていきたいと思います。
- ・ 今後も継続してごみの搬入物検査の強化を含め、減量に向け正しい分別の啓発を行って頂きたいと思います。